

退任挨拶



前和水町議会副議長

森 恵子

副議長の職は2年間という当初の議員間の申し合わせ（約束ごと）に従い、この3月議会において、副議長を辞任致しました。

副議長は議長を補佐するという使命の下で頑張ってきたのも議長をはじめ議員の方々のご協力があったからできたものと感謝しています。

例えば、議会運営方法も旧2町間で違いがあり、その調整や諸問題への対応など、難しい局面に対しても議員全員が一丸となつて、何とか乗り越えて来たような気が致します。その甲斐あって、和水町議会も順調に機能していると考えています。

この2年間で振り返ってみると、合併後間もないということもあり、行事等は旧2町でそれぞれ実施されることも多くありました。

そのため議会の代表である議長は行事等に出席される機会も多く、議長の代わり副議長の私が代役を務めることも何回となくありましたので、貴重な体験ができたものと思っております。

その中でいくつかの例をあげてみたいと思いますが、昨年、精神障害者和水町家族会総会に出席致しました。

国の支援制度が不十分な状況の中、苦悩な日常生活を送りながらも、ねばり強く頑張っておられるご家族の実態を知り、問題の根深さと、ご家族の精神的、肉体的、経済的負担軽減の必要性を痛感しました。

本年3月1日には、南関高等学校の卒業式に出席させて頂きました。

最近になって県立高校再編の動きが急浮上し、南関高校も存続が危ぶまれる事態が発生しましたので、一昨年8月に当議会で、南関高校の存続を訴える「請願書」を県に提出した経過があります。

南関高等学校の卒業式に出席して改めて感じたことです。確かに少人数（卒業生53人）の高校ではありましたが、高校には長い歴史や伝統があり、現在は演劇や美術などの活動も活発に行われていて、本人の個性や才能を発揮することで充実した高校生活を送っている生徒達がいること、又、友達同志の絆や生徒と教師達との親密な関係など、温かい雰囲気を感じられて、たぶん大規模校では得られないと思われる安心感があるように思いました。

今後、県立高校再編問題がどう転回するのか大変気がかりですが、地域に根ざした学校の存在意義は大きく、少子化、あるいは経済性を理由として学校を廃止しようとする動きには大変疑問を感じます。

又、九州看護福祉大学の卒業式には昨年に続き、今年も出席させて頂きました。

おごそかな式典の中、これから看護・福祉分野で活躍することをめざして巣立って行く若い人達の、熱い想いとエネルギーを感じました。

しかし反面、今の日本社会では医療・福祉部門がだんだん削減されていく現状を考えると、このような熱意あふれる若者達が安心して働くことができる職場が必要であり、又、働きやすい環境が整えられることの必要性を強く感じたところです。

この2年間、副議長としていろいろな問題に接し、勉強させて頂いたことに感謝をし、退任の挨拶と致します。

着任挨拶



和水町議会副議長

杉村 幸敏

つつじの花も咲き乱れ、一年の中で最も過ごしやすい季節を迎え、町民の皆様には、益々ご清栄のことと存じます。3月定例会に於いて、副議長に選任頂き、浅学非才の私には、身の引き締まる思いです。国に於いても、財政状況厳しいものがあります。和水町も合併後3年目を迎え、議会、町執行部一体となり新しい町づくりに取り組んでいるところです。国は、北海道夕張市に於ける、財政破綻を踏まえ、平成19年6月22日、自治体財政健全化法が公布されました。和水町3月定例会も終了。

わり、20年度予算として一般会計、特別会計、107億1千340万円が上程され賛成多数で可決されました。小学校統廃合、医療制度改革による、75歳以上の方の後期高齢者医療制度事業が4月1日より始まりました。和水町に於いても大きな懸案事項が山積しておりますが、町民の皆様への負担に答えるべく、議会に於いても議長の補佐をしていきたいと思っております。最後に町民の皆様へ、ご多幸とご健勝をお祈り致しまして就任の挨拶と致します。

【新】議会議員委員会名簿

各委員会名		氏 名	
議長	長	福 山 精 一	
副議長	長	杉 村 幸 敏	
常任委員会	総務文教常任委員会 (6名)	委員長 森 恵子 副委員長 小山 暁 福山 精一 杉村 幸敏 杉本 和彰 庄山 忠文	
	厚生常任委員会 (5名)	委員長 坂本 政光 副委員長 笹淵 賢吾 田上 原一 荒木 拓馬 松村 慶次	
	建設経済常任委員会 (5名)	委員長 北原 芳史 副委員長 多賀 勝丸 高巢 泰廣 荒木 政士 古閑 修一	
議会運営委員会 (6名)		委員長 多賀 勝丸 副委員長 笹淵 賢吾 森 恵子 坂本 政光 北原 芳史 小山 暁	
政治倫理調査会 (7名)		会長 杉本和彰 副会長 荒木拓馬 笹淵 賢吾 多賀 勝丸 坂本 政光 庄山 忠文 森 恵子	
議会広報委員会 (7名)		委員長 小山 暁 副委員長 高巢 泰廣 坂本 政光 笹淵 賢吾 松村 慶次 荒木 政士 古閑 修一	
有明広域行政事務組合 議会議員(2名)		庄山 忠文 杉本 和彰	
監査委員(1名)		田上 原一	

ズバリ聞きます！

3月議会・11人が一般質問



高巢 泰廣 議員

農業振興について

問 品目横断的経営安定対策等の見直しの内容、及び本町の基本方針の内容はどうなっているか。

答 品目的横断的経営安定対策、農地・水・環境保全事業は平成20年度から地域の実情に合った要件緩和が実施される。見直しの内容は、市町長特認制度の創設が図られた。具体的には水田協議会ビジョンに位置づけられ、認定農業者・集落営農組織について、本制度の加入の道を開く為、町の判断によりできるよう一部改正された。又、今後は広域連携による中山間地整備事業等を進めながら、農家・JA・行政の三者が一体となり農業

振興を図っていく。

問 和水町産農産物の、販売強化策として町長自らがトップセールスを展開されてはどうか。

答 町長として、自らトップセールスを展開することに関しては、生産者、行政等のなかで計画されれば意欲的に取り組んでいきたい。

定住促進策について

問 固定資産税の減免等、ソフト面の充実と併せて、住宅用地の供給、上下水道の整備が必要ではないか。又、町体育館周辺の整備を検討してはどうか。

答 固定資産税の減免条例の適用を4月から、又、新婚夫婦に対する定住奨励金の交付を検討中でありソフト面の充実を進めている。

町体育館周辺から立石地域で、現在個人住宅の建築が進んでいる状況下、今後も住宅着工件数は増加することを期待しているが、当該地域の一

部は農業振興地域、文化財の包蔵地域及び隣接地にあり開発行為に関し、法的課題が存在するため、慎重に検討する必要がある。尚、その地域の下水道整備については、現在合併浄化槽で整備を行っている。質問の件に関しては、十分理解できるので、費用対効果を含めて総合的に検討してみたい。

道路網の整備について

問 管内主要道路の整備状況はどうなっているか。

答 管内の道路は国道1路線、主要地方道路4路線、一般県道3路線、町道により形成されているが、玉名八女線・和仁菊水線は改良率が40%に満たない路線であり総延長14.4kmが未改良である。全国平均の道路改良率は73%であるが、和水町管内の改良率は71.9%であり統計的にも本町の道路整備は遅れている。

問 合併支援道路の整備は、旧三加和・菊水間の一体化・交流促進を図る為、早期整備が望まれる。町長の考えはどうか。

答 玉名八女線・和仁菊水線・竜門菰田山鹿線・大牟田植木線・玉名立花線を合併支援道路として位置づけ、和水

町の一体化の為、着実に整備が進められている。先般2月24日、沿線区域住民・関係区長・全議会議員により「和水町道路整備推進委員会」が発足、関係当局への協力と積極的な支援を行うことになり、町として、早急に国県、関係機関へ早期整備に向けて強力に働きかけていく。

問 新幹線「新玉名駅」へのアクセス道路網の整備推進及び玉名一鹿本方面を結ぶ玉名山鹿線の交通渋滞解消の必要性について

答 平成23年開業の九州新幹線玉名駅及び阿蘇熊本空港への広域交通拠点へのアクセスを図る上で関係機関に働きかけていく。

問 内藤橋改築事業の今後の計画はどうなるか。

答 県では菊池川河川改修に合わせ早急に架け替える計画であり、内田・藤田地区への事業説明、その後土地所有者と境界立ち合い等を完了、県玉名土木部によると、平成20年度から着工予定であるが河川改修事業との合併事業の為、現在協議中であるが県当局は用地買収・建物調査を先行していくことである。土地所有者の協力をお願いし

ておきますとのことである。今後の計画ができれば、地元説明会を県へ要請する。

産業廃棄物最終処分場問題について

問 公共関与による産業処分場問題は、平成20年度において井戸調査・環境影響調査方法書の策定を開始すると説明を受けたが、町長はどう受け止めておられるのか。

答 住民の請願については、議会において県当局・県議会にもつないでおられるところ。今回の問題は公共というような関係で私自身、いかに考えて行けば良いか、非常に苦慮する部分です。

現時点に於いては、県産業物対策課公共関与推進室で、環境に関する調査がされ地域の皆さんと協議を進めていただく段階を見守っていききたい。



県道と和仁菊水線/西吉地未改良区間
(幅員4m以内の現道)